

平成 27 年度 浜小学校「交通バリアフリー教室」における出前講座『もっと知りたい「バス」のこと』の実施報告

はじめに

- 横浜市立浜小学校にて、国土交通省 関東運輸局 神奈川運輸支局が主催する「交通バリアフリー教室」が開催され、その中で出前講座『もっと知りたい「バス」のこと』を実施しました。
- 浜小学校は、JR 根岸線 磯子駅、京急本線 屏風浦駅、京急本線・横浜市営地下鉄ブルーライン 上大岡駅から 2km 圏内にあります。
- 浜小学校は小高い丘の上の住宅地にあり、多くの子供たちはバスを身近な乗り物として認識しています。

1 交通バリアフリー教室の全体概要

- 交通バリアフリー教室では、横浜市が担当する「バスのバリアフリー」に関する座学とともに、実際のバス車両や車いす等を使った体験プログラムも行われました。
- クラスごとに2つに分かれて、横浜京急バスのバス車両を使った①車いす利用体験・介助体験と、②出前講座『もっと知りたい「バス」のこと』を学びました。
- バリアフリーに関する「知識」の習得と実際の「体験」を同時に行うことで、子供たちのこれからの生活の中で活きた知識として根付いていくことを期待しています。
- 横浜市は、②の出前講座にて、横浜市のバスをとりまく状況や、バスやUDタクシーのバリアフリーの現状を伝えるとともに、モビリティマネジメントの大切さを伝えました。

交通バリアフリー教室について

【日時】平成 27 年 9 月 16 日(水)
3・4 校時(10:30~12:10)

【対象】浜小学校
6 年生 1・2 組(71 名)

【内容】①車いす利用体験・介助体験
②出前講座『もっと知りたい「バス」のこと』

→クラスごとに分かれて順次実施



全体説明



座学



車いす利用体験・介助体験



2 「バスのバリアフリーに関する座学」の開催報告

- 出前講座では、説明用のパワーポイントを用いて、『もっと知りたい「バス」のこと』と題して、バスの役割や横浜市内のバスの利用状況、バスやタクシーのバリアフリーの仕組みを中心に授業を行いました。
- さらに、マンガリーフレットを用いて、横浜市ではバスの利用者が減少しており、このまま利用者が減少すると「将来、バスが無くなってしまおう」可能性もあることを伝えました。
- また「便利なクルマに頼りすぎず、バスで行ける所はバスで行く」など、心掛けてほしいことを伝えました。
- 浜小学校は駅まで近いこともあり、駅まで歩いていく子供が多い一方で、おうちの方を含めてお出かけにバスも使う子供も見られました。
- 「行き先や状況に応じて、バスを上手に使うって暮らす」ことが大切であることを伝え、授業を終えました。

座学に用いた教材

①説明用パワーポイント:もっと知りたい「バス」のこと



②小学生向けマンガリーフレット



おわりに

- 今回の交通バリアフリー教室を経験して、車いすで移動することの大変さ、視覚障害を持つかたが感じている不安、及び移動の介助の難しさ、大変さを肌にした子供たちがたくさんいました。
- また、運転席に座ってバスの死角について学ぶなど、バリアフリーのことだけでなく、バスの様々なことも学びました。
- 最後にはバスの運転士さんと積極的に交流する姿も見られ、子供たちにとって、いつも以上にバスを身近に感じる1日になったと思います。
- 子供たちが、これからもバスを上手に使い、またバスで困っている人をサポートするきっかけになる「交通バリアフリー教室」となりました。



バスの運転席からバス車両の前に座った人たちがどう見えるかを確認、死角について学んでいます。



バス運転士さんのお話を聞きながら、バスのことを学んでいます。